

5 GSA の協議状況に関する追加質問

ソフトバンクご回答

令和4年4月19日

ソフトバンク株式会社

接続料の算定等に関する研究会（第56回）を踏まえたとご質問につきまして、以下とおりご回答いたしますので、ご査収の程よろしくお願いいたします。

【辻座長】

1. 協議に必要な情報と期間

以下の機能開放形態について、これまでの協議実績を踏まえ、同時期・同機能提供にあたり具体的にどのような情報・どれだけの検討期間が MVNO 側に必要と考えているか（提供〇か月前に〇〇に関する情報が必要、等。）。

- ① L3 接続相当（サービス卸）
- ② ライト VMNO（スライス卸/API 開放）
- ③ L2 接続相当
- ④ フル VMNO（RAN シェアリング）

【ソフトバンク回答】

一般論として、接続等に必要になるMVNO側での設備構築の要否や接続構成等により、検討期間は変わるとは思いますが、現時点でも国際標準化の整理中の接続形態等もあるため、MNO側での確に想定することは困難です。

したがって、以下の回答は、推測や感覚的な内容も含まれることをご承知おきくださいますようお願いいたします。

<① L3 接続相当（サービス卸）>

①L3接続相当（サービス卸）についてはMVNO側での設備の準備は不要であるため、短期間で検討・提供できるものと想定しています。

<② ライト VMNO（スライス卸/API 開放）>

②ライトVMNO（スライス卸+API開放※）については、MVNO側での設備構築は不要と想定しています。ただし、API連携のためのシステム開発等は必要であり、感覚値としては半年程度が必要かと推測しています。また、

構成員限り

です。

※APIをモニタリング関連の機能のみに限定し、全てのMVNOが1つのスライスを共用する限定的パターン

<③ L2接続相当>

③L2接続相当については、MVNO側での設備構築が必要であり、過去の経験より、設備調達から商用リリースまでは1年程度の期間が必要と推計します。当社においても、国際標準化は2022年10月頃（第55回会合当社資料記載）と想定しており、その後ベンダー開発から商用リリースまで1年半～2年の期間が必要（第38回会合当社資料記載）となる見込みのため、早くともFY23以降（第55回会合当社資料記載）の提供開始となる想定です。

<④ フルVMNO（RAN シェアリング）>

LTEにおいてもフルVMNOのような形態での提供の実績がなく、検討したこともないため過去の協議実績を踏まえたご回答が困難となります。

また、④フルVMNOについては、事業者間での無線リソースの制御方法、トラフィック制御など広範な検討・整理と国際標準化が必要であることから、回答できる状況ではございません。

以上